

《課題名》

Stage IV 大腸癌における予後因子の検討

《対象者》

当院で 2005 年 1 月から 2014 年 12 月までに治療を行った大腸癌で Stage IV であった患者さん

研究協力をお願い

当科では「Stage IV 大腸癌における予後因子の検討」という研究を行います。この研究は、当院で 2005 年 1 月から 2014 年 12 月までに治療を行った大腸癌で stageIV の患者さんの臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示などによるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。また希望されれば、計画書等研究に関連する資料を個人情報保護と研究に支障がない範囲に限り閲覧することができます。

(1) 研究の概要について

研究課題名： Stage IV 大腸癌における予後因子の検討

研究期間： 承認日～2021 年 12 月 31 日

実施責任者： 滋賀医科大学 外科学講座 教授 谷 眞至

(2) 研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

近年、化学療法などの進歩により大腸癌の生存期間の延長が認められます。また、手術により長期に生存が認められる方もおられますが、予後に関する因子については一定の見解が得られていないのが現状です。今回、Stage IV の大腸癌の臨床経過を評価し、臨床病理学的因子および予後について検討します。

(3) 研究の方法について

《研究の方法》

後ろ向き観察研究。当院で 2005 年から 2014 年の大腸癌で Stage IV の方の臨床経過、検査値を評価します。また、電子カルテより患者さんの年齢、性別、術前腫瘍マーカー、腫瘍部位、組織型、腫瘍深達度、リンパ節転移、脈管浸潤、リンパ管浸潤、肝転移、肺転移、腹膜播種、病期、再発、術前・術後治療といった情報を利用します。

(4) 予測される結果（利益・不利益）について

参加頂いた場合の利益・不利益はありません。

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。また、個人を特定しない形で大腸手術関連の研究に二次利用することがあります。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(7) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 外科学講座 三宅 亨

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2238

メールアドレス： hqsurge1@belle.shiga-med.ac.jp